

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月20日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902587		
法人名	有限会社 オフィスモリヤマ		
事業所名	グループホーム 花		
所在地	北海道旭川市春光台2条6丁目1番11号 (電話) 0166-51-8787		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年3月18日	評価確定日	平成21年4月3日

【情報提供票より】(平成21年3月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月27日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	20人	常勤	19人, 非常勤 1人, 常勤換算 14人

(2) 建物概要

建物構造	木造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000円	その他の経費(月額)	23,500~31,500円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,380円			

(4) 利用者の概要(3月1日現在)

利用者人数	18名	男性	1名	女性	17名
要介護1	5名	要介護2	3名		
要介護3	5名	要介護4	3名		
要介護5	2名	要支援2			
年齢	平均 85歳	最低	68歳	最高	103歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団元生会 (森山病院・森山メモリアル病院・福祉村サテライト診療所)
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

春光台のバス通りに面して交通の利便性も良く、広い敷地と菜園がある2ユニットのグループホームです。職員と利用者が地域のフラワーロードに花を植えたり、草取り等のボランティア参加で地域貢献に取り組んだり、地域の高齢者向けに「お茶会」を開催するなど地域の一員として地元の人々との交流や連携に取り組んでいます。また、広い菜園も作られ花や野菜の栽培や収穫が行われ利用者が喜びを感じることでできる生活につながっています。ホーム内の共用の空間は、広くゆったりとして花や観葉植物が多く飾られたり、ベランダにはバードウォッチングができるように椅子やテーブルも配置され楽しみごととなっています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、地域との更なる連携が挙げられていましたがフラワーロード等の地域ボランティアへの参加や新年会や花見などの町内会行事参加、地域の班長の就任を通じて地元の人々との交流や連携の促進に取り組んでいます。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価を通じて、新たな気づきや改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果については、運営推進会議で報告されて話し合わせられ運営に反映される取り組みが行われています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、ほぼ毎月開催される主な議題は 鷹栖フェスティバル(フラワーロード参加)等の活動報告 地域からの要望・意見交換 1月7日新年会開催の報告 雛祭り参加案内 感染症予防と対策のホームの取り組みについて
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族会が定期的で開催され、意見や不安な点など言い表せる機会を設けています。また、ホーム行事参加への呼びかけや協力など家族等が来訪しやすい取り組みが行われ、来訪時には日常生活の様子や健康状態、苦情や要望など話し合わせ、それらを運営に反映させる取り組みも行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	職員と利用者が地域のフラワーロードに花を植えたり、草取り等のボランティア参加で地域貢献に取り組んだり、地域の高齢者向けに「お茶会」を開催するなど地域の一員として地元の人々との交流や連携に取り組んでいます。また、新年会や花見などの町内会行事参加、地域の班長の就任を通じて地元の人々との交流に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、グループホーム独自の理念をつくりあげている。また、年1回理念について研修会が行われている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、その実践に向けて申し送りを通じて日々取り組んでいる。		特筆すべき点として、理念達成のために具体的な個々の職員の目標を設定している。今後は、このような良い取り組みを積極的に外部へアピールすることを期待しています。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	職員と利用者が地域のフラワーロードに花を植えたり、草取り等のボランティア参加で地域貢献に取り組んだり、地域の高齢者向けに「お茶会」の開催や新年会や花見などの町内会行事参加、地域の班長の就任を通じて地元の人々との交流・連携に取り組んでいます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を通じて、新たな気づきや改善の機会として利用されている。また、外部評価の結果については、運営推進会議で報告されて話し合われ運営に反映される取り組みが行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、ほぼ毎月開催され、委員は町内会長・副会長・民生委員・家族会会長などで構成されている。また、利用者本人との交流や認知症に対する理解が得られるようにホーム行事等に運営推進会議を開催している。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	旭川市や包括支援センター主催の研修会や講習会に積極的に参加してサービスの質の向上に取り組んでいる。また、疑問や問題ごとが出た時には、相談したり助言を受けたりするなど出来るだけ市との連携が取られている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭出納帳、領収書を添付し金銭出納が毎月報告されている。また、毎月「花の便り」を発行して日常生活の様子やホーム主催行事の案内を掲載し、情報提供している。体調の変化時には逐次電話にて伝えられています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会が定期的で開催され、意見や不安な点など言い表せる機会を設けている。また、ホーム行事参加への呼びかけや協力など家族等が来訪しやすい取り組みが行われ、来訪時には日常生活の様子や健康状態、苦情や要望など話し合わせ運営に反映されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職は、徐々に安定してきている。また、施設長は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>看護資格を持っている職員が在籍しており、毎月感染症予防や緊急対応時の方法など内部研修が充実している。またグループホーム協議会や包括支援センターなどの外部研修参加も行われている。</p>		<p>今後は、介護計画の作成等実践での職員を育てる取り組みが検討されている。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会や包括支援センター等の研修参加を通じて他施設との交流を行いサービスの向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には家庭訪問や家族、本人の見学などで職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、料理や家事の手伝い、畑作業や野菜の収穫など一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて畑作業や野菜の収穫、花や観葉植物の管理など本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見を反映した介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、美容院への送迎や散歩、買物など柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>看護資格を持っている職員が常勤で在籍していると共にかかりつけ医による訪問診療が行われ日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、職員間で方針を共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応をしないように研修を通じて徹底している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか料理や掃除、畑作業や野菜の収穫、散歩や買物など日常生活を通して希望にそって支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながらホームの畑で作った茄子・ししとう・カボチャなどの野菜を料理に取り入れ、入居者が味見などの準備から関わり、家庭的な雰囲気職員と一緒に食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるような取り組みが行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら菜園や花壇の作業、食事の準備や後片付け、散歩や買物など楽しみごとや気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、初詣やドライブ、家族と一緒に夜の宴会、散歩や買物、畑作業や野菜の収穫など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、センサーの設置などで鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	年2回火災避難訓練を実施している。また、消火設備等についても定期的に点検が実施されている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	栄養バランスや摂取カロリーについては、管理栄養士の指導・助言を得ている。また、水分・食事摂取量は、記録されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、広い居間では、複数のソファが置かれ、入居者同士で談笑が楽しめ気分転換ができるような工夫がされている。ベランダからは新緑や紅葉が眺められ季節感が味わえる構造となっている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には、使い慣れた家具や仏壇などが持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。